

確かな読みの力を育てる国語科指導のあり方
—仲間と共に読みを深め、自分の考えを表現する活動を通して—

1 単元名 人物の生き方を考えながら読もう
「海のいのち」(物語)

2 目標

- 物語に興味をもち、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えながら読もうとする。(関心・意欲・態度)
- 場面の構成や登場人物の相互関係をてがかりに、中心となる人物の変容を読み取り、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを表現することができる。(読む能力)
- 本文中の言葉は、登場人物の気持ちや場面の様子を表すために意図的に使われていることに気付くことができる。(言語に関する知識・理解・技能)

読解力向上プログラムとの関連
目的に応じて理解し、解釈する能力の育成ア— (ア)

3 単元について

(1) 単元観

本教材は、様々な登場人物とのかかわりの中で中心人物が成長していく姿を時間の経過に沿って描いている。また、物語の基本構造である「設定」、「展開」、「山場」、「結末」の四つの部分から構成されており、各場面に時間の経過を表す言葉があるので、児童にとっては話の展開もわかりやすいものとなっている。そのため、本教材において、物語の構成や人間関係を手がかりに中心人物の変化を読み取って、主題をとらえる学習を設定することは、物語が自分に強く語りかけてきたことを自分の言葉で表現する力をつけるのに大変有効だと考える。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、課題に対し落ち着いて取り組むことができる。しかし、根拠を明らかにして自分の考えを話したり、わかりやすく表現したりすることを苦手とする傾向がみられ、進んで発表する児童は限られている。また、文章を丁寧に読むことができずに大事な言葉を読み落としてしまうことが多く、文章の読解は難しいと感じている児童も多い。さらに、読書量の個人差も大きい。

事前テストの物語文読解問題の結果は次の通りである。

【物語文読解問題の問別正答者数(正答率)】	31人(9月22日 調査)
①場面の展開をとらえる力	*人(*%)
②叙述に即して人物の心情や変化を読み取る力	*人(*%)
③構成を手がかりに中心人物の変化を考える力	*人(*%)
④登場人物の相互関係を手がかりに中心人物の変化を考える力	*人(*%)

【物語文読解問題の正答率別人数】

90%以上…*人 80%…*人 60%以上80%未満…*人 60%未満…*人

以上の結果から、本学級の児童は場面の展開をとらえる力や構成を手がかりに中心人物の変化を考える力はおおむねあるものの、主題を考える上で大切な「中心人物の心情や変化」を叙述に即して読み取ることが苦手であることがわかる。また、中心人物の心情変化を登場人物との相互関係も含めて読もうとする意識が低いいため、内容を深く理解することができずにいると考える。

(3) 指導観

まずは、「教材で学んだことを生かす言語活動の場」を単元計画の最後に設定することで、目的意識をもちながら最後まで学習意欲を持続できるようにしていきたい。

また、「物語文を読み味わうためのポイント」を提示して読み取りを行っていくことで、作品が変わっても根拠を明確にしながらか「最も強く語りかけてきたこと」をとらえられるようにさせたい。特に本単元では、中心人物とその他の登場人物とのかかわりを大切にしながら読み進めるとともに、登場人物の役割について話し合う時間を設定することで、物語を深く読み味わうための視点として、登場人物の相互関係を意識して読むことの必要性に気付かせたい。

さらに、学習形態を工夫しながら、読んで考えたことを互いに伝えあう場を意図的、計画的に位置づけることで、友達の多様な読みの存在に触れ、新しい発見をしたり、自分の考えをより深めたりできるようにしていきたい。

4 学習計画（11時間扱い）

次	時	学 習 内 容	評 価 規 準
一	1	・「盛り上げよう！読書の秋」に向け、活動内容（おすすめの本の「紹介文」「ポスター」「語り」）を選択し、学習の見通しをもつ。	・活動内容を選択し、今後の学習への関心と見通しをもつことができる。 （関心・意欲・態度）
二	1	・題名から想像できることを発表する。 ・本文を通読し、物語の大まかな内容をとらえるとともに、初発の感想を書く。	・物語に興味をもち、物語の大まかな内容をとらえて、初発の感想をまとめようとしている。 （関心・意欲・態度）
	2	・物語を「設定」、「展開」、「山場」、「結末」の四つの部分に分け、構成をとらえる。	・場面分けの仕方を理解し、構成をとらえ、場面ごとに出来事をまとめることができる。 （読む能力）
	3	・「設定」部分を読み、父の生き方と太一の父への思いを読み取る。	・太一の父への思いと太一の父の生き方を読み取ることができる。 （読む能力） ・登場人物の気持ちや場面の様子を表す語彙などに気付いている。 （言語に関する知識・理解・技能）
	4	・「展開」部分を読み、与吉じいさの生き方と母の思い、太一の成長を読み取る。	・与吉じいさの生き方や海に対する考え方、母の思い、太一の成長を読み取ることができる。 （読む能力） ・登場人物の気持ちや場面の様子を表す語彙などに気付いている。 （言語に関する知識・理解・技能）
	5	・「山場」部分を読み、瀬の主と出会った太一の心情を読み取る。	・瀬の主に出会ってからの太一の心情をつかみ、太一の変化を読み取ることができる。 （読む能力） ・登場人物の気持ちや場面の様子を表す語彙などに気付いている。 （言語に関する知識・理解・技能）
	6	・「結末」部分を読み、瀬の主と別れた後の太一の様子を読み取る。	・瀬の主と別れた後の太一の生き方を読み取ることができる。 （読む能力） ・登場人物の気持ちや場面の様子を表す語彙などに気付いている。 （言語に関する知識・理解・技能）
	7 本時	・太一の成長に大きくかかわった登場人物は誰か話し合う。	・物語を深く読み味わうためには、登場人物の相互関係をとらえ、自分の考えをまとめることの大切さに気付くことができる。 （読む能力）
	8	・根拠を明確にしながら物語が自分に最も強く語りかけてきたことを書く。 ・グループで意見交流をする。 ・新たに気付いたことや変わった考えを書く。	・これまで読み取ったことを根拠にして「物語が自分に最も強く語りかけてきたこと」を書いている。 （読む能力）

三	1	・おすすめの本の「紹介文」「ポスター」「語り」から各自が選択した内容に沿って「盛り上げよう！読書の秋」の準備を行う。	・発信する相手を意識し、「物語が自分に最も強く語りかけてきたこと」をそれぞれの発表内容に合わせ表現している。（読む能力）
	2		

5 本時の授業

(1) 目標

物語を深く読み味わうためには、登場人物の相互関係にも着目しながら読むことの大切さに気付くことができる。

(2) 授業のポイント

① 確かな読みについて

本時まで部分的に読み取ってきた、「登場人物の相互関係を手がかりにした中心人物の変容」について、総括的な課題を提示して考えさせることを通し、物語を深く読み味わうには、登場人物の相互関係を意識して読むことの必要性に気付けるようにする。

② 仲間と共に読みを深め、自分の考えを表現する活動について

意見交流が活発になるように、「自分の立場、その登場人物を選んだ根拠」を整理する時間を十分確保する。

(3) 展開

● 個への対応 □ 評価 (方法)

学習活動及び内容	準備・資料	指導上の留意点 (○)
1 前時までの学習内容を振り返る。	短冊	○ 「物語を読み味わうための視点」を確認しながら、「海のいのち」で学習したことを振り返れるようにする
2 本時の課題をつかむ。		○ 今取り組んでいる学習をもとに、「盛り上げよう！読書の秋」の取組を行うことを確認し、本時の活動への意欲付けとする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 太一の成長に大きくかかわった登場人物は誰か話し合おう。 </div>		○ 全体で対象となる登場人物を確認することで、考える姿勢をもてるようにする。
3 ノートに自分の考えを書いて、意見交流をする。 〈予想される児童の反応〉 父 ・海のめぐみだからなあ。 ・ぼくは漁師になる。おとうといっしょに海に出るんだ。 与吉じいさ ・千びきに一びきでいいんだ。千びきいるうち一びきをつれば、ずっとこの海で生きていけるよ。 ・おまえは村一番の漁師だよ。 母 ・わたしはおそろしくて夜もねむれないよ。		○ 自分の立場、その登場人物を選んだ根拠を明確にしたうえで意見交流ができるように、書く時間を十分確保する。
4 意見交流をして感じたこと、考えさせられたことを発表する。 〈予想される児童の反応〉 ・中心人物の成長には、様々な登場人物がかかわっている。		○ それぞれの立場において、左記の表現に着目させながら根拠を考えるようにする。
5 本時のまとめをして、次時の学習課題を知る。	● 自分の考えが書けないでいる児童には太一の変容とそれぞれの登場人物とのかかわりを確かめるよう助言する。	
		○ 自分の考えと比べながら聞くことで、各自の考えが深められるようにする。
		□ 根拠を明確にしながら自分の立場を書くことができたか。(ノート)
		□ 意見交流を通し、物語を深く読み味わうためには、登場人物の相互関係にも着目しながら読むことの大切さに気付くことができる。(ノート)

結 末 山 場

展 開

設 定

課 太一の成長に大きくかかわった登場人物はだれか話し合おう。

太一

おとう、ここにおられたのですか。また会いに来ますから。
大魚はこの海のいのちだと思えた。
瀬の主を殺さないで済んだ。
村一番の漁師であり続けた。
周りの人々を幸せそうにした。

母

裏面には、着目させたい表現や内容を記入しておく。

与吉

裏面には、着目させたい表現や内容を記入しておく。

父

裏面には、着目させたい表現や内容を記入しておく。

太一

瀬の主をとらえたい父へのあこがれ

意見交流を通して感じたこと、考えさせられたこと、本時のまとめを板書する。

物語を読み味わうためのポイントを掲示